



## ママたちをゆるっと、やさしくつつみこむ

ママたちのために、社会とつながれる場をつくる『ママのコミュニティ支援団体「ゆるっとままのわ」』。ご自身も対人恐怖症だったいさな悦子さんが、自分と同じように悩んでいる人が気軽にしゃべりできたり、子育て中のママが孤独を感じないようサポートできる場をつくりたいと立ち上げました。

現在は「ゆるっと」参加できる茶話会をたがさぼで月1回行っています。大人も子どもも一緒におしゃべりしたりゲームをしたりして、ゆったりと過ごします。参加者からは「とても心が軽くなった」「人見知りの子だけど、ここでは元気いっぱい」という声がありました。

今後は散歩会やお花見など、外でも開催できればと考えているそうです。「ゆるっとままのわ」は、決して「あなた」を否定することなく、誰でも受け入れてくれる場。人見知り、話すのが苦手、そんなママも勇気をもって参加してみてください。固くなっていた心が少しずつやわらかくなるはずですよ。



活動の様子や、参加申し込みについては、ブログをご覧ください！

ゆるっとままのわ 検索



代表のいさな悦子さん。「コミュニケーションが苦手でも、人は社会とつながりたいという想いを持っています。家族だけでなく社会とつながることも大切です」と話してくれました。

茶話会の様子。この日は、ママ用のカードゲームで盛り上がりました。



### ヒント from たがさぼPress

たがさぼのブログから、地域づくりに役立つ記事をご紹介します！

- 2019年8月15日(木)掲載 / 聴覚障がい×ヒーローショー 新たなショーのカタチ
- 2019年8月22日(木)掲載 / 「子どもをひとりにならない」 広がる!こども食堂
- 2019年8月24日(土)掲載 / 助成金の申請をする前に 一財源の特徴を確認してみよう

### “たがさぼPress”とは?

たがさぼスタッフによるブログ。興味があれば「たがさぼPress」へ!  
<http://blog.canpan.info/tagasapo/>



### “tag”のアンケートのお願い

今後の誌面づくりの参考にしたいと思いますので、ぜひご協力をお願いします！  
また、以下のような情報もお待ちしています！

- 自分たちの団体を取材してほしい
- ユニークな活動や、地域のためにがんばっている団体・人を知っている
- こんな話題を取り上げてほしい

### たがさぼからのお知らせ

たがさぼが企画する「一歩ふみだすきっかけ」をご紹介します

### たがさぼのクリスマス雑貨市 ボランティア募集!

毎年冬恒例の「たがさぼのクリスマス雑貨市」。今年も、当日のイベント運営や前日の会場準備をお手伝いいただくボランティアを募集します。雑貨に興味のある方、イベントが好きなお方、人と話すことが好きなお方、ぜひご参加ください。

#### 日時と内容

- 12月22日(日)【当日】9:00~17:00 ...①会場案内 / ②出展団体の補助 ③各団体の広報 / ④駐車場案内 / ⑤運営全体のサポート
- 12月21日(土)【前日】時間は応相談 ⑥会場の装飾

申込み 右の「申込み用QRコード」からお申し込みください。  
問合せ 022-368-7745(多賀城市市民活動サポートセンター)



## 助けあえる地域を目指して20年 住民を結びまちの歴史を語る町内会報『すみだ』

回覧板や地区の掲示板、町内会報、口コミ...、地域の情報を知るのにはさまざまな方法があります。今回は、今年3月で発行を終了した隅田地区の町内会報『すみだ』をご紹介します。

読めば地区の  
想いとストーリーが  
分かるんだね。



### 1 住民の「和」を大切に

『すみだ』を発行していたのは、1995年から2019年3月まで隅田会の会長を務めていた佐藤司さん。24年間で242号もの発行を積み重ね、地区の住民に地域の情報を届けてきました。

佐藤さんは会長に就任してから、住民同士の親睦を深め、地域の学びの機会とするために数多くの取り組みをしてきました。例えば地域について学ぶ講演会やお茶飲み会、運動会や文化祭などです。さらに、定年を迎えた独り暮らしの男性たちにも、地域に関われるよう声がけてきました。そしてこのような想いを届けるべく、『すみだ』づくりに取り組んできました。



地区の魅力が詰まった会報『すみだ』

### 2 隅田の自慢あれこれ！

『すみだ』には、地域の行事の告知や報告のほかに、エッセイ、俳句、山歩きの注意、菊づくりのコツなど住民が書いた文章なども掲載し、読んで楽しい誌面になるよう工夫を凝らしてきました。地元隅田地区出身のバイオリニスト郷古廉さんが全日本学生音楽コンクール小学生の部で日本一に、フランスのコンクールのジュニアの部で世界一に輝いた時には「地域の宝」として『すみだ』に大きく取り上げて地区をあげてお祝いし、応援してきました。



長年、町内会長を務めた  
佐藤司さん

### 3 震災で活きた『すみだ』のつながり

2011年に東日本大震災が起こった時には、佐藤さん自ら炊き出しを行い、つくったおにぎりを住民に配りながら食料を地域で分け合うことを呼びかけ、食材の提供も受けました。日頃から『すみだ』で防災についても取り上げていたため、今まで以上に住民同士で協力し合う態勢ができました。この時ほど、普段の町内会の行事参加や近所付きあいの大切さが身に染みだしたことはなかったそうです。さらに、震災時に住民がとった行動などについて後日アンケートをとり、次なる災害に備えるべくその結果をまとめて発信しました。



郷古さんと子どもたちが敬老会を盛り上げてくれました。

### 4 これからのヒントに

今年の3月に最終号を発行して会長を退いた今、ひとつのことをやり切ったと佐藤さんは話してくれました。これまでの隅田会の歩みが手に取るように分かる会報『すみだ』。これからも住民たちの活動の道しるべに、そして隅田会だけでなく他の地区でのヒントとして活用されることを願っています。

町内会お役立ち月間  
～「すみだ」からみる多賀城の歴史～

24年続いた町内会報『すみだ』の展示を通じて、多賀城の歴史を振り返ります。トークイベントや町内会お役立ち情報の展示などを期間中に行います。詳しくはたがさぼPressをご覧ください。

とき 2019年11月1日(金)～30日(土)  
ところ 多賀城市市民活動サポートセンター 2Fギャラリー

What's? //



「tag」には、多賀城(tagajo)の頭3文字、みんながタッグを組んで地域をつくる、多賀城に新しいタグ(価値)をつける、という意味が込められています。



@tagasapo  
たがさぼのツイッターへの  
フォローをお願いします！



<https://www.tagasapo.org/>  
たがさぼのホームページは  
こちらへアクセス！